

製品名: ApoL1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07044**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	44kDa

抗原情報

遺伝子名	APOL1
別名	APOL1; APOL; Apolipoprotein L1; Apolipoprotein L; Apo-L; ApoL; Apolipoprotein L-I; ApoL-I
遺伝子 ID	8542.0
SwissProt ID	O14791
免疫原	抗血清はヒト APOL1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 261-310

背景

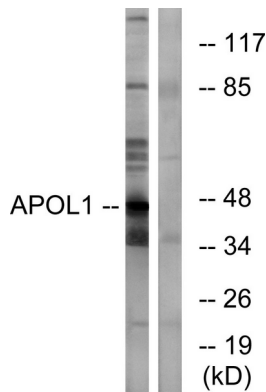
この遺伝子は、アポリポタンパク質 A-I に結合する分泌型高密度リポタンパク質をコードします。アポリポタンパク質 A-I は比較的豊富な血漿タンパク質であり、HDL の主要なアポタンパク質です。血漿中のほとんどのコレステロールエステルの形成に関与し、細胞

からのコレステロールの排出も促進します。このアポリポタンパク質 Lファミリーのメンバーは、体全体における脂質の交換と輸送、および末梢細胞から肝臓へのコレステロールの逆輸送に関与している可能性があります。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の異なる転写バリエーションが見つかっています。[RefSeq 提供、2008年11月]、機能：体全体における脂質の交換と輸送に関与している可能性があります。末梢細胞から肝臓へのコレステロール逆輸送に関与する可能性がある。、配列注意：Gln と翻訳されている。、類似性：アポリポタンパク質 Lファミリーに属する。、サブユニット：血漿中では APOA1 と相互作用し、主に大型高密度リポタンパク質粒子と結合する。、組織特異性：血漿。APOA-I 含有高密度リポタンパク質 (HDL3) 上に認められる。膵臓、肺、前立腺、肝臓、胎盤、脾臓に発現する。、

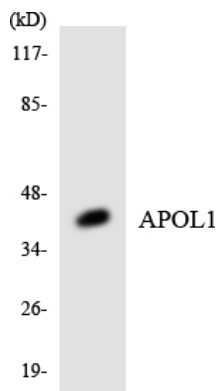
研究分野

心血管系

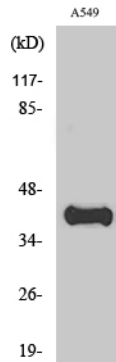
画像データ



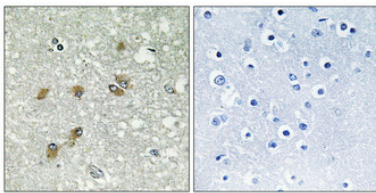
APOL1 抗体を用いた A549 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



APOL1 抗体を使用した K562 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



1: 1000 に希釈した ApoL1 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晩) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。